

2015 年度 障害者小規模事業所対象研修会ご案内

テーマ：グループホームを必要とした家族と寄り添う運営者

－発達障害の親が子どもの生活の場の確立と運営を引き受ける事業所－

発達障害の子どもの一生を考えた時、グループホームの必要性を強く感じた。

子どもが小学校の高学年時に落込みがひどくなり、ふと漏らした一言「ぼくなんか生きていてもしかたないんだ」に愕然となり、それまで少しでも普通の子どものようにと頑張らせてきたことのあやまちに気付きました。

それから色々な研修会などに参加して多くを学習し、いつまでも子どもと生きていけない家族として、青年期、成人期、老年期といった各ライフステージでの子どもの幸せを考えるようになりました。

子どもは特別支援学校卒業後、就労の経験もしましたが、現在身近な小規模事業所に通っています。そんな中でグループホームの企画、入居の仲間も集めました。運営はNPO法人（現在の通っている小規模事業所運営）にお願いをいたしました。H27.10月開所予定です。

法人は二の足を踏むような感もありながらグループホームの準備をしていた中で、家族の申出に後押しをされたように運営を引き受ける決定をしました。現在は建設等準備を寄り添う思うで進めています。

小規模事業所もグループホームは必要と思いながら日々の流れに追われておりますが、グループホームを作ろうとする関係者が、一歩踏み出した思いを率直に聞いていきたいと企画しました。

【講師】 磯崎 貴子（家族、グループホームオーナー予定）
高橋 直美（NPO法人おだわら虹の会 副理事長）



【日時】 2015年6月27日（土）10：10から12：00

【会場】 神奈川県社会福祉会館4F、第3研修室

横浜駅 徒歩5分

【申込方法】 メール又は FAX

メール：syousakuren@sirius.ocn.ne.jp

FAX: 045(290)0201

【定員】 40名(未定)

【主催】 (特非)

神奈川県障害者地域作業所連絡協議会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

TEL 045-290-0501

..... 申 込 書 (FAX で申込を行う場合はこの申込書を切らずに送付ください。)

	氏 名	所 属	地区名 (市町村名)
グループホームを必要とした家族と寄り添う運営者			

締切:6月19日(金)ただし、定員なりしだい締切ります。